

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA型判定 ハイリスク13種 項目コード: 7548

受託開始日

平成23年8月1日(月) 受付分より新規受託開始

※ 裏面の受託要項をご確認の上、ご依頼ください。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社 / 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社 / 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社 / 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社 / 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社 / 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

いがく小田原衛検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
7548	ヒトパピローマウイルス(HPV) DNA型判定 ハイリスク13種	子宮頸部擦過細胞	新容器:W 冷蔵	電流検出型 DNAチップ法	(-) ※1	7 5 1 1	2000 微生物 ※2	※3

委託先: エスアールエル(略号:*4)

※1 検出可能な型は、16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68型です。(検出された型のみをご報告します)

※2 あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1又はCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定できます。

尚、詳細に関しては、弊社Information 保険No2011-02を参照願います。

※3 子宮頸部擦過細胞は、冷蔵にて速やかに提出をお願いします。

尚、本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱に注意し、他項目との重複依頼は避けて下さい。

W 保存液入りLBC用容器	
	内容物 固定液
	貯蔵方法 室温
	有効期限 2年
	検査項目 ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA型判定 ハイリスク13種
	採取方法 ①綿棒以外の採取器具(ブラシなど)を用いて検体を採取します。 ②細胞保存液(10mL)の入った容器の蓋を開け、検体を採取した器具を保存液の中で強く浸透させ、検体を攪拌させます。 ③容器の蓋をしっかりと閉めて提出して下さい。

▼ 臨床的意義

当検査項目は、前癌病変である異形成の段階において、ヒトパピローマウイルス(HPV)ハイリスク群の遺伝子型を判定する検査として、本年より保険収載されました。

子宮頸癌は高リスク型HPVの持続感染が危険因子であると報告されており、遺伝子型により臨床経過が異なり、ハイリスク群の中でも特に、16, 18, 31, 33, 35, 45, 52, 58型は、進展リスクが高いと評価されています。当検査により前癌病変の初期の段階において、子宮頸癌の進展リスクに基づいた適切な治療法の選択が可能となります。

▼ 参考文献

1. Takahashi M, et al : Clinical Chemistry 50 (3) : 658~661, 2004. (検査方法参考文献)
2. Matsumoto K, et al : International Journal of Cancer 128 (12) : 2898~2910, 2011.